

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(1) 学校再編でめざす教育

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
1	教育	取組の具体性が見えない	少子化による学校再編については致し方ないことかと思うのですが、それに伴い、教職員体制、また教員がこれまでと再編以降で具体的にどのように違った対策をとられるのがまだいまひとつ見えてきません。	—	児童生徒の実態や教育課程等の共通理解、教材や教具の共有、学年・教科における授業研究や授業改善、生徒指導等、組織的に教育にあたることのできるような体制づくりをめざす。再編で学校数が少なくなることにより、学校間の情報共有がしやすくなったり、研修を充実させたりして、教員の資質・能力の向上につなげていく。	【開始時期：令和4年度】 教職員を含む組織として学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、教育課程等について検討を進める。各校における教育課程や研修体制を参考にこれからの体制づくりに生かす。
2	教育	少人数の方がよい(目が届く、学力向上やいじめ防止につながる)	学校教育は一定規模以上の集団で行い、様々な人間関係を通じて、社会性や協調性を培っていくことが望ましいとのことだが、少人数であっても人間関係を通じて社会性や協調性を学ぶことは出来ると思う。少人数の方が教職員の目も届き、学力向上やいじめ防止に繋がるのではと思う。	—	一定規模以上の適度な学校規模を確保することで、クラス替えや新たな人間関係の構築のほか、集団活動、行事等における教育効果の高まりや活性化などが期待できる。再編に伴い人数が増えても、一人一人の子どもにできるだけたくさんの教職員が関わり、児童の様子の変化にいち早く気づいたり、担任だけでなく他の教職員にも相談できるような関係や環境をつくりたい。学習については、教科担任や少人数指導、ITC機器を活用した学習などを取り入れ、授業改善を行い、学力の向上をめざしていく。	教職員間で情報共有をし、多面的な児童理解に努めるとともに、授業改善を行い学力向上をめざしていく。
3	教育	複数担任、少人数学級にすればよい。特別支援教育も充実してほしい。	学校を再編するのならば1クラス2人の担任、副担任を置くなどし、教育の町小松島としてアピールしたらよいと思う。コロナが終わっても1クラス20~25人くらいまたは20前後で一人一人に寄り添える教育をしてほしいです。通級や特別支援の充実もしてもらいたいです。	—	教職員の定数は学級数によって定められているが、児童の実態や学校運営を踏まえ加配の要望をしていく。複数担任や少人数学級については、十分な教員数を確保できないため実現は難しいが、教科担任、TTなど授業形態の工夫などにより多くの教師が子どもに関わり一人一人を大切にしていける体制をつくっていく。 現在、市では、特別支援教育支援員を配置しており、今後も特別支援教育の充実に向け、人員配置や施設整備など検討していく。	再編にかかわらず、特別支援教育の充実、一人一人を大切に添った寄り添う教育に取り組んでいく。

(1) 学校再編でめざす教育

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
4	教育	教員の負担が増えるのでは	教員は人手不足だと聞かすが、再編で児童数が増えると教員は大変になるのではないか。	—	教職員数が増え、小中連携、生徒指導、教科指導、研修などの充実が図られることで、業務改善、働き方改革につなげていく。	
5	教育	再編のメリット・デメリットを踏まえた教育	再編する事でメリットとしては、これからは勉強だけでなく、多くの人の中で自分の意見を表現出来る様になってほしいので、再編にはメリットがあると思うが、デメリットとしては、小人数の学校のような先生と友達との距離が近い感じがなくなると思うので、心配な面もある。再編で人数が多くなると、勉強の出来る子、社交的な子供だけが重視されるのではなくて、勉強が苦手な子、内向的な子、友達作りが苦手な子供たちにも目配りや配慮が出来る教育にしてほしいと思います。	—	小規模校、大規模校のそれぞれにメリット、デメリットがあるが、学校再編にあたっては、多くの友達や教師とともに学び、生活する中で、多様な考えにふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばし、社会性や多様な価値を育むことをめざしていく。再編に伴い人数が増えても、一人一人の子どもにできるだけたくさんの教職員が関わり、児童の様子の変化にいち早く気づいたり、担任だけでなく他の教職員にも相談できるような関係や環境をつくったりしていきたい。	教職員間で情報共有をし、多面的な児童理解に努めるとともに、一人一人に寄り添う教育に取り組んでいく。
6	教育	友人関係に関する不安	生徒数が増えることによってイジメ等が増えるのではないかとそれを適切に注意、指導のできる教員を配置してほしい!	—	一人一人の子どもにできるだけたくさんの教職員が関わり、児童の様子の変化にいち早く気づいたり、担任だけでなく他の教職員にも相談できるような関係や環境をつくったりしていきたい。また、再編による児童の不安等を軽減し、新たな学校生活に円滑に移行できるよう、学校間の事前交流等を進める。	【開始時期：開校2年前】 再編後における教職員の継続配置や加配制度の活用など、学校の指導・運営体制を整える。また、学校間の事前交流等を進める。
7	教育	現状のままでよい	今で充分なぐらい、先生からの教育を受けているので、今以上はないと思う。	—	再編は、「未来を担う人を育てる教育」を目標とし、様々な人間関係を通じて社会性や協調性を培うことをねらいとしている。そのためには、一定程度の学校規模を確保することが望ましく、再編は必要であると考えている。	

(1) 学校再編でめざす教育

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
8	小中連携	具体案を知りたい	小中連携の具体案は？	—	学校再編準備委員会において、9年間を見通したカリキュラム作成、相互乗り入れ授業や交流活動、教職員の連絡会や合同研修会など、小中連携の内容について検討する。決定事項については市ホームページなどで知らせていく。	【開始時期：令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、検討を進める。 再編にかかわらず、中一ギャップの軽減のため、計画的に合同学習や交流活動を行う。
9	小中連携	小中連携はなくてよい	小、中の連携は無。小学校の学び、中学校の学びは分けるべき。質の高い学びは出来ないと思う。発達段階と言うが混乱が生じる。	—	生きる力の育成のためには、9年間を見通した教育課程の編成や指導体制の構築など、小中が連携して計画的・系統的に教育を行っていくことが必要であると考えており、連携をさらに充実させ、小中一貫教育をめざしていくこととしている。	【開始時期：令和4年度】 教職員を含む組織として学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、教育課程等について検討を進める。各校における教育課程や研修体制を参考にこれからの体制づくりに生かす。
10	幼小連携	幼・保との連携	幼、子ども園を入れて考える必要がある。	—	小松島市教育大綱(第2期)にある保・幼・小・中での切れ目ない教育の実現のため、情報共有や交流活動を計画的に行っていく。	再編にかかわらず、計画的に連絡会や交流を行っていく。

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(2) 学校施設の整備

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校(場所等)	解決策(方針)	左記のスケジュール(時期・期間、内容等)
1	防災	地震津波対策、耐震強化	南小松島小学校に新しく建てるのであれば、きちんと地震津波対策はしていただきたいです。	南小松島小学校敷地	校舎等を新設する場合は1階部分をピロティにするなどして主な活動場所は2階以上に設ける。学校での防災教育を通じて日頃から防災意識の向上や知識の習得をめざす。ハード・ソフトの両面から児童や教職員の防災力を高める。	【開始時期:令和4年度】 校舎等整備の基本計画の中で具体的内容について検討する。同年度から学校再編準備委員会で教育課程(防災教育含む)についての検討も開始する。
2	防災	防災施設設備の充実・強化	災害が起こったとき(特に地震津波)にしっかりと防災設備、備蓄があてほしい。	—	災害時の照明の落下や棚の転倒を防ぐことなど安全を考慮した設計をし、災害に強い建物を建設していく。備蓄については、学校は災害時に避難所となるため、学校敷地内に防災倉庫を設置したり、学校内に非常食料や発電機などの機材を置いたりして、災害時の備えをしている。	【開始時期:令和4年度】 校舎等整備の基本計画の中で具体的内容について検討していく。
3	防災	避難所としての整備	学校は災害時における避難場所となるため常に整備は必要。避難場所はひとつでも多い方がよい。	—	再編後も体育館については避難所として利用し、校舎については、利活用の見込みがなく除却するまでの間は屋上を災害時の緊急避難場所として利用することとしている。	再編後の避難場所等については、地域等の意見を聞きながら検討を進めていく。
4	再編校	新校舎に整備してほしい施設	広い教室、図書室、体育館、図書の充実した図書室	再編校	小松島市のめざす教育をもとに、教育的ニーズや今後の教育内容、社会の変化に対応できる施設を教職員、保護者、地域の方の意見を取り入れながら設計していく。	【開始時期:令和4年度】 校舎等整備の基本計画の中で、具体的内容について検討していく。
5	再編校	新校舎に整備してほしい設備	洋式トイレの普及・清潔な環境(水回りなど)や冷暖房完備	再編校	子どもが心地よく過ごせる環境となるよう、市外・県外の先進事例等を参考にしながら設計していく。	
6	再編校	新校舎に整備してほしい施設	プールは新しくするか、市民プール(小松島には室内で通年使用できるプールがないので温水プールとして設置してほしいです。)として併設してほしいです。	再編校	今後、民間の専門の方にご協力いただき、今回のモデル事業をもとに次年度も水泳の授業を継続していきたいとの考えであり、可能な限り、民間の力を借りて、学習する方向で考えていく。	水泳学習については、民間の力を借りて実施していく方向で進めていく。
7	再編校	再編校の校舎建設時の配慮	仕方がないこととは思いますが、我が子が入学してから卒業までほぼ南校が工事というのは残念です。学校での活動に支障がないようお願いしたいです。	南小松島小学校敷地	校舎建設の際は学校活動に支障が生じないように防音対策や工事車両とは異なる駐車スペース(出入口、走行ルート)を設けるなどの対策を行いつつ、建設工事を円滑かつ安全に進めていきたい。	【開始時期:令和6年度】 校舎等建築時には、請負業者や学校、教育委員会の三者で十分に協議しながら、なるべく支障が生じないように工事を行う。

(2) 学校施設の整備

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
8	施設 修繕	施設の修繕等	今の段階で危険な箇所は直すべき。子どもが安心して通学できるようにお願いします。各学校だけでは費用は補えません。	-	児童の安全を考え、早くしなければなら ないものから取りかかり、今後も続けてい く。	再編にかかわらず、児童の安全を第一に 施設整備、修繕を行っていく。
9	施設 修繕	施設の修繕等	直せるところを直し、再利用の方がよ い。		市内のほとんどの小学校で老朽化が進 んでおり、施設の更新が必要な状態に なっている。施設の状況に応じて、新築、改 修、修繕などを判断し整備していく。	
10	費用	費用面	費用がかかる	-	市内のほとんどの小学校で老朽化が進 んでおり、施設の更新が必要な状態に なっている。再編に係る事業費について は、さらに財政負担を軽減する方法を検 討していく。	【開始時期：令和4年度】 財政負担を軽減する方法を検討する。
11	費用	費用面	再編で無駄にならない範囲で行うべき		事業については十分協議し、精査して、 無駄のないよう進めていく。	
12	面積	校舎や校庭の広さ	校舎、校庭は児童が全員走り回れるくら い広いのか。	再編校	新設する2校については、児童数に対応 する国の基準値を満たしている。	

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(3) 通学支援

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
1	通学	通学支援対象者の範囲	希望する子は全員バスを利用できるようにしてもらいたいです。同じ校区で乗れる子と乗れない子を出すべきではない。低学年ほど手厚く支援してあげてほしいです。	—	学校再編準備委員会(専門部会含む)において通学路や通学支援の具体的な内容について検討し、決定する。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、通学支援について検討を進める。できるだけ早期に決定して、情報を提供していく。
2	通学	十分な支援方法の検討	具体的にどう支援してくれるのか知りたい。学校が遠くなると送迎の負担が増える。小さいときは心配。	—	学校再編準備委員会において、通学路や再編校から1,800mの地点、スクールバスの乗降場所など通学支援の具体的な内容について検討する。	
3	通学	親の負担が増える	通学が遠くなる子どもたちが多くなるうえで、バス通になるとかかるお金や毎日親が送迎すると大変になります。無料送迎などはむずかしいと思いますが、保護者は助かります。	—	学校再編準備委員会で詳細を検討していくが、保護者負担がないような方向で考えていく。路線バスやスクールバスの費用については、バス会社や委託業者、関係各課と協議のうえ進める。 保護者の送迎については、学校再編準備委員会で検討し、なるべく送迎しなくてもよい方法を考えていく。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、通学支援について検討を進める。 あわせて、バス会社等との協議を進める。
4	通学	徒歩通学距離の目安の検討	1,800mを徒歩通学圏内とすることに対して1年以上前から反対意見が出ているが「考慮します」と答えるだけで、具体的な改善案が示されていない。通学路の歩道を作るなど安全面の整備が先のはず!	—	徒歩通学圏内1,800mは目安であり、通学支援の具体的な内容については、学校再編準備委員会において検討する。道路整備については、通学路安全推進協議会と連携しながら進める。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、通学支援の内容について検討を進める。 あわせて、地域や警察等関係機関と見守り体制等についても協議を進める。 通学路の整備については、通学路安全推進協議会と連携して進める。
5	通学	通学距離・時間	通学距離・時間が明らかに差が出るようであれば困る家庭が増えると思うから。	—	通学時間の目安を30分としており、できるだけそれを超えないような通学支援の方法を考えていく。	
6	通学	校区の広がり	校区が広がる事により、放課後の友人との交流時間の確保がむずかしくなる。	—	放課後の時間を確保できるよう、できるだけ通学時間の目安である30分を超えないような通学支援の方法を考えていく。	
7	通学	スクールバス運行内容	スクールバスは乗り遅れた場合、フォローはあるのか?	—	学校再編準備委員会(専門部会含む)において通学路や通学支援の具体的な内容について検討し、決定する。	
8	通学	スクールバス運行内容	登校の通学支援は説明はわかりませんが、下校は居残りや下校時間がバラバラな時や警報時の時はどうなりますか?	—	下校時刻の調整や警報時の対応については、現在バス通学をしている南小松島小学校のノウハウを生かす。	

(3) 通学支援

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
9	通学	安全確保・事故防止	通学距離が長くなり事故の不安があるが、通学路の整備を行い、安心して通学することが出来る様に検討頂ければ良いと思う。	—	学校再編準備委員会において、新設校の安全な通学路について検討する。危険箇所の把握や施設整備については、通学路安全推進協議会と連携を図りながら進める。	【開始時期：令和4年度】 学校再編準備委員会（専門部会含む）において通学路の安全性向上のための取組を進める。同取組は、国県市の道路管理者や警察職員等で構成される通学路安全推進協議会と連携を図りながら進める。また、通学支援の具体的な内容についても検討を進める。
10	通学	安全に通学できる環境	学校をまとめることへの反対はありませんが、遠方になる子も現れてくると思います。近頃は痛ましい事故、事件が増えています。通学時の悲しい事故を防止するため安全に安心して通学できる手段（教職員による見守りやスクールバス運行など）には特に力を入れてほしいです。	—	日々の交通安全指導、通学路付近でのスクールサポーターや保護者の立哨、通学支援サポーターの配置や道路標識によるドライバーへの注意喚起などの方法が考えられる。このような様々な取組を通じて安全性を向上できるよう、取り組んでいきたい。	それとともに、引き続き、教職員による日々の交通安全指導のほか、保護者・地域の方や警察機関と協力しての交通安全教室、危険箇所での点検や指導を行い、児童の交通安全に対する意識を高める。また、地域や関係機関との見守り体制についても協議を進める。
11	通学	安全に通学できる環境	小学校はできるだけ地元の小学校に通わせたい。子どもが少子化になってきているのは理解できるが、学校が遠くなるのは、子どもも大変。通学時の安全面やパトロールなどの案など全く説明がなく、ただ、学校をなくす事しか入ってこない。	—	これまでの説明会においては、通学路の安全確保のために、現在も、通学路安全推進協議会（学校、保護者、地域、警察、行政）で危険箇所等の点検を行い、点検結果に基づいた対策の実施や改善を図っていることや、南小松島小学校の児童が乗るバスに、通学支援サポーターが一緒に乗って、バスの乗降時や車内での安全確保に努めていることなどを説明させていただいている。今後も通学時の安全確保に向けて取り組んでいく。	
12	通学	事故等への心配、不安	通学距離が遠くなる場合がある。それにより車で送迎が増え学校周辺での事故や渋滞が増えると思う。	—	学校から少し離れた場所に送迎場所を設けたり、学校敷地内への進入経路を工夫したりするなど、渋滞の解消方法について検討する。	【開始時期：令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、通学支援の内容について検討を進める。
13	通学	徒歩通学がよい	小学生の子にバス通などではなく徒歩がいいと思うので今のままで徒歩で行ける距離に学校があった方がよい。	—	めざす教育実現のために再編を進めている。計画案立案においては、できるだけ徒歩で通える児童が多いところを重要視して検討している。	
14	通学	徒歩通学がよい	地区の小学校は徒歩が基本。徒歩通学により健康の保持と増進にもつながる。	—	体育の時間等を活用して体力向上に取り組んだり、先進事例を参考にしたりして健康の保持増進に努める。	各学校において、児童の実態を踏まえながら体力向上についての取組を推進していく。

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(4) 学校数

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
1	教育	児童数に差がありすぎる	今より減らすのはわかるけど、南小は特に1学年人数が増え、クラス数が増える。単独で残る学校は1学年1クラスのまま。これは教育上平等なのか?均等感がなく納得できない。再編されているのが一部の学校のみである。	—	地域ごとに人口差がある現状では、市内全校の児童数を均等にすることは難しい。大人数のよさ、少人数のよさを生かしながら、共通したカリキュラムの作成や合同学習、交流活動の計画づくりをしていく。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、教育課程等について検討を進める。
2	教育	児安と和田島は集団にならない人数であり、再編の基本方針と矛盾している	不平等感は以前と変わらないですね。「学校教育は一定規模以上の集団で行うことを基本」とあるのに、児安と和田島は集団にならない人数なのに矛盾しているのでは?	—	必ず40人の学級でないといけないのではなく、4つ5つくらいのグループでの話し合いや発表会をするときに役割分担をして、何かをつくっていくことができる集団を確保して教育活動にあたることをねらいとしている。	
3	教育	人数が多いと問題が生じる	多い人数にならない方が良い。多人数だと色々問題(人数が多ければ多いほど目が行き渡らない)が生じる。	—	再編に伴い人数が増えても、一人一人の子どもにできるだけたくさんの教職員が関わり、児童の様子の変化にいち早く気づいたり、担任だけでなく他の教職員にも相談できるような関係や環境をつくったりしていく。	再編にかかわらず、多くの教職員が児童と関わることでできる体制づくりや教職員の資質向上のため、研修の充実などの取組を行う。
4	通学	通学距離が長くなると事故、不審者にあう不安がある	学校の数を減らす場合、子どもが登校するのに遠くなる可能性が考えられる。事故に巻き込まれたり、不審者に出くわす可能性があるため減らすのは反対です。	—	学校再編準備委員会において、安全な通学路について検討し、危険箇所の把握や施設整備については、通学路安全推進協議会と連携を図りながら進める。地域学校協働活動を活用したり、関係機関と連携したりしながら、登下校時の見守りの充実を図っていく。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、通学路安全推進協議会と連携しながら通学路の安全性について検討を進める。 あわせて、地域や関係機関と見守り体制等についても協議を進める。
5	通学	放課後の時間に差が出る	学校が少ないと、近い子と遠い子の差が大きく、宿題や勉強のできる時間に差がでたり、習い事かけられる時間も変わってくるのではと思う。	—	放課後の時間を確保できるよう、できるだけ通学時間の目安である30分を超えないような通学支援の方法を考えていく。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会を設置し、開校までの間に、通学支援について検討を進める。

(4) 学校数

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
6	編成	もっと多くてもよい、減らしすぎ	最終11校→5校まで再編を予定しているが、そこまで少なく再編せずとも8校くらいまでの再編でも良いのではないのでしょうか？	—	保護者の方の意見、アンケートから、再編で最も重要視してほしいのは通学、通学の安全性という答えが一番多く、通学面を考慮した結果、徒歩で通える児童が最も多い組み合わせが南小松島小、新開小、児安小、和田島小となった。今回、当面北小松島小学校を存続して、段階的に再編を進め、令和15年度に5校とする計画としている。	
7	編成	学校の組み合わせを変えてほしい	11校を8校→5校へではなく、まず近い小学校、小松島小と千代小で1校、芝田小と南小松島小で1校、立江小と榊小で1校、坂野小と新開小で1校というふうに、少しずつ進めていくのはどうでしょう。			
8	編成	学校の組み合わせを変えてほしい	立江榊小で1校にするべき。春日野や新しくできるIC利用者をうまく地域にとり込むべき。市北部も同様			
9	編成	学校の組み合わせを変えてほしい	生徒数が多いところにより増やすなら均等にすれば？(他の学校と)			
10	編成	学校の組み合わせを変えてほしい	中学校区ごとに再編を考えた場合、芝田小は北部と南部を分けてはどうか？北部→児安小と統合、南部→立江小・榊小と統合。			
11	編成	児安小が残ることが理解できない	小松島中学校区ですが、児安小だけ残してそれ以外統合というのがどうも理解できない。			
12	編成	令和15年以降も北小松島小学校の存続を	令和15年度に5校になる予定であるが、そのまま北小松島小学校も残し、建て替えて存続させてほしいです。交通量も少なく、通学路が安全であるのがいいところです。また南海トラフの地震の時にも小学校が近くにあると避難や備蓄等安心できます。	—	見直し期間(R15~R17)を設け、児童数の推移や財政事情等を踏まえながら、次期計画の策定に向けた見直しを行うことにしている。	
13	編成	5校にしてもいずれ一定数が維持できなくなる	5校にしてもどんどん子どもの数が減ったらそれでも1学年1学級にならなくなると思う。			
14	編成	現状維持	今のままで良い。	—	再編は、「未来を担う人を育てる教育」を目標とし、様々な人間関係を通じて社会性や協調性を培うことをねらいとしている。そのためには、一定程度の学校規模を確保することが望ましく、再編は必要であると考えている。	

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(5) 再編時期

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
1	再編時期	早く進めてほしい	できるだけ早くしてほしい。校舎の老朽化は喫緊の問題だ。	—	すでに学校の小規模化や校舎老朽化が進んでいるため、早期の学校再編が必要と認識している。早期に実現できるよう、引き続き財政状況を踏まえた整備手法等を検討していく。 様々な課題については、計画を進めていく過程の中で解決できるよう取り組んでいく。	
2	再編時期	早く進めてほしい	現時点でも少人数になることが心配なので、近隣小学校の統合は早急に考えるべきであると思います。			
3	再編時期	まだ早い	実現するにはもう少し先でないと無理がないか。			
4	再編時期	まだ早い	急に住民説明会を再開したかと思ったら来年度から着手予定なのは強引すぎる。住民の理解はもちろんだが、問題点がたくさんある中、解決する前に再編時期を迎えるのはおかしい。			
5	再編時期	まだ早い	ICにあわせて立江櫛淵の住宅事情の改善を行った後			
6	再編順	小松島南中学校区から再編を	立江小学校等、人数も減少しているので、小松島南中学校区から整理していくべきだと思う。	立江小学校等	再編については、築年数や児童数を考慮して新小松島小学校からとしているが、工期短縮のための整備手法について検討を進める。	
7	その他	計画案の提示時期	今この案を出すことによって今この学校に行っても卒業できないからとなくなる学校はより入学数がへると思います。	—	必ずいずれかの時点で計画案を提示することになるが、なるべく早い段階で計画作成過程を市民にお知らせすることで、市民と行政との情報共有を図っていく。	

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(6) 再編場所(敷地)

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校(場所等)	解決策(方針)	左記のスケジュール(時期・期間、内容等)
1	通学	道路が狭いのに交通量が多い	新小松島小学校は再編場所は変えられないのでしょうか。道路が狭いのに交通量が多く事故がいつ起こってもおかしくない。小学校周辺の通学路が安全でない。(小学校から離れている所の道路は仕方がないと思いますが、小学校まわりが危険すぎます。)	南小松島小学校周辺	通学路の交通安全対策については、通学路安全推進協議会において、危険箇所の点検、対策の検討・実施を行っているところであるが、学校再編に伴う渋滞緩和対策については、まずは渋滞要因の把握・分析を行った上で、ハード、ソフトの両面から対策について今後検討していく。	【開始時期:令和4年度】 学校再編準備委員会(専門部会含む)において通学路の安全性向上のための取組を進める。同取組は、国県市の道路管理者や警察職員等で構成される通学路安全推進協議会と連携を図るとともに、できる対策から着手していく。
2	通学	道路が狭いのに交通量が多い	南小、道幅狭い、車の交通量多い、駐車できる場所少ない、生徒数が多いところにより増やすなら均等にしては?(他の学校と)			
3	通学	道路が狭いのに交通量が多い	新開小で新校舎を建てるので気になるのが、周辺道路の狭さです。花しんばり子ども園の送迎の車も多いでしょうし、交通量が編成によって増えるようなら道幅を広げるなど、安全への対策をしてほしいです。	新開小学校周辺		
4	通学	通学路の安全対策	通学路の整備を見直してもらいたい。徒歩通学はいいが車道と歩道の区別があいまいな所や狭い道、信号のない横断歩道など危険なところはまだまだたくさんある。生徒数が集中する前に再度通学路の安全確保を検討してもらいたい。	—	通学路の交通安全対策については、通学路安全推進協議会において、危険箇所の点検、対策の検討・実施を行っているところであるが、今後の小学校再編の進捗状況に応じて、随時、関係機関・団体との密接な連携を図りながら、新たに通学路となる経路も含めて、通学路の安全確保のための整備を検討していきたい。	

(6) 再編場所(敷地)

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校(場所等)	解決策(方針)	左記のスケジュール(時期・期間、内容等)
5	通学	送迎場所の確保	行事の際、送迎の際の駐車場を確保してほしい。	—	駐車スペースを考慮した校舎等の配置を検討し、併せて、学校周辺に確保することも検討していく。	【開始時期:令和4年度】 校舎等整備の基本計画の中で敷地内の配置計画をまとめ、具体的な案づくりに繋げていく。
6	面積	敷地は足りているのか	4校+学童があるにはせまいかな?南校横の道も危険。学童を近くの田んぼなどを開発する?	南小松島 小学校敷地		
7	面積	敷地は足りているのか	他方面からもし送迎した場合車の駐車できる場所はあるのか。			
8	校区	校区の見直し	少人数の学校かつ近い学校で統合していくのが良いと思う。もしくは、今の学校の校区を1から見直す方が良いのでは。南校区でも赤石や金磯の人は新開の方が近いのではと思う。	—	学校再編にあたっては、これまでの地域と学校との関係を継続し、地域の歴史や伝統を新しい学校に継続していくため、現在の校区を維持し、その校区の学校単位での再編を原則としているが、通学を指定された学校よりも近距離に別の学校がある場合は、申請によりその校区の学校に通学することを認める方針であるほか、再編準備を進める中でも、通学距離や道路網の新たな整備などの情勢に応じた通学環境を考慮し、見直しを検討していく。	再編準備を進める中でも、見直しを検討していく。
9	校区	校区の見直し	南中学校を考えているのに前期の松中枠に入っているのが大変困る。			
10	防災	津波に対する安全性	津波のこない安全な新しい学校を作してほしい。	—	小松島市は、山間部等の一部地域を除いたほとんどの範囲が浸水想定区域に含まれているため、現在の11小学校及び2中学校も浸水深度に違いこそあれ、浸水想定区域内にある。このため、小松島南中学校のように、一階をほぼ使わないような構造にすることによって、校舎に居ることで津波を回避できると考えている。新しい施設を整備する際はそのことを念頭に置きながら、施設設計を行っていきたい。また、学校での防災教育を通じて日頃から防災意識の向上や知識の習得をめざしていく。	【開始時期:令和4年度】 校舎等整備の基本計画の中で敷地内の配置計画をまとめ、具体的な案づくりに繋げていく。また、同年度から学校再編準備委員会で教育課程等教育内容(防災教育含む)についての検討も開始する。
11	防災	津波に対する安全性	地震の時津波が心配。津波の心配がないところがよい。			

小松島市立学校再編実施計画(案)に対する意見と対策

(7) その他

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
1	まちづくり	学校をなくすと地域が衰退する	学校とは単に"教育の場"だけでなく、地域コミュニティや防災機能など多様な役割を果たしていると感じます。地域の過疎化や衰退の入口は、"公共機能"の低下がきっかけであり、地域から公共機能をなくせばなくすほど過疎化は加速すると考えられます。コンパクトシティとは程遠い現状を作り出していると感じます。	—	学校は長い歴史の中で地域コミュニティの中心的役割を担ってきた側面があるが、小学校は義務教育を行う施設であることから、まずは、子どもたちにとって「より良い教育環境を整えること」が、市教育委員会の務めと考えている。なお、地域における諸課題については、今後の公民館活動や学校施設の利活用等も含めて、地域の皆様方のご意見を踏まえながら検討することになる。	
2	まちづくり	学校をなくすと地域が衰退する	地区から小学校がなくなるのはその地区の衰退に直結する。	—		【開始時期：通年】 全庁的にまちづくりに取り組む中で、関係部局が緊密な連携を図るとともに、地域の意見も踏まえながら、まちの活性化に向けた取組を展開する。
3	まちづくり	学校をなくすと地域が衰退する	小学校が近いので今小松島に住んでいます。これから先、まだ小学校に行く子供もいます。たしかに少子化が進んでいますが、それを理由になにもかも減らしていくというのは、地域の集まりも減り、もっと小松島がさみしくなると思います。学校が遠くなるにつれ、子供達はへるばかりです。税金も高い、学校も保育所も少ないとなれば、この先、小松島はますます人口が減ると思っています。自分の子供には、大人になったら他の市へ行くように進めると思います。	—		
4	まちづくり	人口増加対策をするべき	小松島市の人口が増えていくような、子どもが増えるような対策をもっとしっかりしてほしい。中学校卒業まで医療費無料など、出産したらお祝い金など財政的に厳しいと思うがこのままではもっとダメになると思う。	—	人口減少対策については、現在本市の最重要課題の一つとして考えている。特に、若い世代や子育て世代の定着、Uターン等に繋がる施策の展開は、小松島市の将来に大きく影響する。子育て支援メニューの拡充や就業対策、公園整備、防犯や災害対策等、安心・安全で暮らしやすいまちづくりに向けて今後とも市民の皆様のご意見をお伺いしながら、予算の重点配分を行う等、取り組んでいきたい。	

(7) その他

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
5	学童保育	学童施設の見直し等	学校再編により学童利用希望者も増えると考えられるので学童施設も見直した方が良いのではないかと。南校の学童は現在1年生優先とは聞いたが他校と一緒にすると希望者も増えたり、兄弟で利用したくてもできないなどが考えられる。	—	学童保育クラブについては、今後ますますニーズが高まってくると考えている。それを見込んで、校舎を新設する場合には併設、利用する子どもが入れる規模の施設を建設する考えである。ただし、学童保育クラブの運営方針等については、保護者のニーズを踏まえ、各学童保育クラブを運営する運営委員会と協議を重ね検討する。	
6	学童保育	学童施設の見直し等	学童は学校敷地内でお願いします。学校から離れた場所では心配です。			
7	学童保育	学童施設の見直し等	このご時世、共働き、核家族世帯が増え、放課後は学童や児童館にお世話になるご家庭も多いと思う。できるだけ学校近く(空き教室など)に学童など作ってほしいと願うが、あふれるくらいのクラスにならないよう何カ所かに分けて(地域ごととか)作ってもらえたらと願う。			
8	制服	制服等についての検討	再編中、移動になった子どもたちは旧小学校で使用していた備品等制服等を買直しなくてもいいように今から考えてほしいです。	—	従前校の制服や持ち物を使用することを原則とし、新たな保護者負担が生じないように配慮したい。	【開始時期:令和4年度】 再編する各学校のPTAや地域住民、学校関係者等の参加のもとで、学校再編準備委員会を設置し、その専門部会で詳細な検討を進める。
9	制服	制服等についての検討	学校再編が決定した時点で制服や体操服等の決定もしていただきたい。今、新開小学校は子ども達が体操服登校している。制服での登校でも可とあるが、きちんと決めてほしい。年に2~3回しか着ることのない制服、おさがりをもらえるところはいいが、もらえない家庭にしたら大きな出費です。			
10	制服	制服等についての検討	再編にあたり、従前校の制服や持ち物を使用できるとのことですが、少数人数校の子どもたちが大人数の小学校に行ったとき、自分の制服、持ち物が他の子どもたちと違うことで学校生活が変わったストレスに加えてのストレスを感じることを不安に思っています。子どもの成長により制服の切り替えを行う中で、従前校の制服の子供の人数が減り、いやな思いをしないか心配です。	—	市広報誌等での学校再編準備委員会やその専門部会の取組状況を周知する際や生徒指導等を通じて、従前校の制服や持ち物を使用することに対する理解を形成していく。	

(7) その他

No.	分類	意見	意見の詳細	対象校 (場所等)	解決策 (方針)	左記のスケジュール (時期・期間、内容等)
11	P T A	PTA活動等の見直し	新校にあたりPTAも今の時代に合わせて縮小化すべきだと思います。旗持ちやプール当番などのみにしてその他は検討すべきではないでしょうか？6月のPTAバレーも選手を支える体育部のお手伝いの方は休日もつぶれて大変な思いをしています。共働きの家庭も多くなってきており簡素化するなどが必要だと思います。	—	PTA活動等における保護者の負担は学校規模の大小にかかわらず発生すると考えるが、負担感の軽減も含め、再編後のPTA活動等の内容について検討を進める。	【開始時期：開校1年前】 学校再編準備委員会とその専門組織の「PTA部会」で具体的な検討を行う。